

# 燃えた地区中体連大会

# 剛健進取

## 男子二位、女子善戦

六月四日(土)、五日(日)の二日間  
に渡り、中学三年生にとっては最後の  
地区大会であった。男子は、打倒  
「名護中」を果たし優勝をめざす。女  
子は初戦突破をめざし大会に臨みま  
した。男子は初戦、大宮中学校にセ  
ットカウント「二対ゼロ」で勝利しま  
したが、相手もこれまで以上に実力  
を上げ、接戦する場面もありました。  
準決勝では、因縁の対決となりました。  
昨年もこの大会で、接戦を演じ、  
セットカウント二対一で涙をのみ  
ました。この思いを晴らそうと今大  
会、全力で名護中学に挑みましたが、  
相手もさることながら実力を上げ  
さらに強敵になっていました。その  
結果、「ゼロ対二」の完敗でした。こ  
の悔しさを県大会で晴らそうと今、  
練習に励んでいます。一方、女子は  
初戦、今帰仁中学校と対戦しました。  
試合前などは、これまでにないほど  
リラックスし笑顔がたえませんでした。  
これはいい試合ができると感じ  
ました。案の定、試合では手に汗握  
るラリーが続くなど粘りある試合



6月号  
令和4年  
6月22日(水)  
文責：比嘉 克章

でした。互いに声をかけ合い、精一杯の頑張りが見られ、よくぞこま  
で成長したんだと嬉しくなりました。  
結果は、「初戦敗退」でしたが大きな  
成長を感じる最後の大会になりまし  
た。よく頑張った。

## 主な選手感想 (抜粋)

**男子バレー部主将 中三 比嘉幹太**  
さん 「本当に悔しい」これが地区  
最後の大会で負ければ引退だとい  
うことをすごく感じました。名護に負  
けて本当に悔しかったし、自分たち  
の力の無さがわかった。三位に終わ  
ってしまったのは、サーブカットを  
たくさんミスして連続失点してしま  
い名護に流れがいつてしまったから  
です。今大会でサーブカットや強烈  
なスパイクが全然ダメ(捕れない)な  
んだということを思い知らされまし  
た。県大会ではこの二つをしっかりと

## 試合結果

男子  
1回戦 大宮中  
25:17、25:10  
準決勝 名護中  
12:25、14:25  
女子  
1回戦 今帰仁中  
9:25、8:25

題名の「剛健進取」は校歌の一節にあ  
る言葉です。言葉のように「たくまし  
く元気で健やかに、新たなことにチ  
ャレンジできる人になって欲しい」  
との思いでその言葉としました。



対 名護中戦

練習してチーム全員ができるように  
一生懸命頑張つていきたい。  
**中三 安田 愛永さん**「緊張すこかつ  
た」どのチームも勝利、県大会出場  
に向けてこれまで以上に熱が入って  
いた。また、緊張もすこかった。今大  
会を通して課題もたくさんみつかつ  
たので、県大会までには改善してい  
きたい。個人としてはブロックが相  
手の思うつぼだったので上手くでき  
るように練習したいです。**中三 翁長**  
**風さん**「県大会、二日目まで」僕



対 名護中戦

たち三年生は次で最後の大会なので  
サーブカットやスパイクカットなど  
練習して二日目まで残りたいです。  
**中三 名越 逞音さん**「声出し、フ  
ォローで絆深まる」今大会このよ  
うな結果(三位)になったのはみんな  
の意識が低かったからだと思います。  
捕れそうなボールを捕らなかったり、  
先生に言われてから行動することが  
あったからです。しかし、これまで  
の大会より声を大きく出し、フォロ  
ーし合ったため、これまで以上に絆  
が深まったと思う。次の県大会は全



応援の様子

対 今帰仁中戦

力を尽くして二日目まで残りたいです。**中二 末吉 登夢さん**「点取ったら喜ぶ」試合中に相手にのらされてしまった。自分たちは声が出なかつたり得点をとつても喜ばなかつた。県大会では、勝っていても負けていても点を取ったときには喜んで、ミスなどで相手に点を入れられたらしっかり励ましてあげたい。これらを克服するためには、まず練習で手の型

を確認する。チャンスからのスパイクなど実践してみ次につなげていく。声出しも次からしていく。**女子バレー部 主将中三 伊波 由依華さん**「雰囲気良かった」新報杯よりサーブの成功率が下がっていました。しかし、ミスをしてもお互いに声を掛け合うなど雰囲気はとも良かったです。緊張していたけど笑顔だったので「最後の試合だから緊張しているのかな」「楽しんでいな」と思い嬉しくなりました。この試合は、今までで一番ラリーが続いていました。(成長できたことは)チームで喜んでたり、声を掛け合うことは前よりも良くなっていると思う。八月の大会に向けこれまで以上に練習して次のチームに引き継ぎたいです。**中三 甲斐 花楠さん**「バストを

尽くした」(今大会は)みんな声を出してラリーも結構続いていたので自分たちのバストが尽くせたいと思います。(成長できたことは)声を出せるようになったことです。**中二 具志 聖梨珠さん**「雰囲気良く楽しめた」(大会で感じたことは)二回目のボールが遠くへ行ってもカバーしたり、追うことができたので良かったと思います。そのお陰でラリーが続いた

## 橋名板に選出される

(小4 小橋川 進希さん)

本部町の伊野波にある、佐伊土間橋(さいどまはし)架け替えにともない、橋の表示の募集が小中学校にありました。本校小学4年生の小橋川 進希(ゆきの)さんが毛筆で書いた字が選出されました。おめでとうございます。



とあります。私自身はサーブミスが多く、悔しかった。毎回同じ反省をしているのに改善されていないと思いました。チーム全体では雰囲気は良く楽しむことができました。今後は、練習で緊張感をもって同じミスを繰り返さないように、一つ一つのメニューを真剣に取り組んでいきたいです。

**中二 渡口 理央さん**「前大会より向上」みんな前の大会よりサーブやサーブカットが上手になって雰囲気もとても良くなっていたと思います。今回の結果は点数は低かったけど、ラリーできたと思います。(成長したことは)サーブが入ったりラリーが続いたことです。今後は、お見合いをなくしボールを捕りに行くときは「はい」といい、ミスを繰り返さないようにしたい。挑戦したいことは、スパ



イクをもっと巻いてコート内に入りたいです。**中二 翁長 咲亜さん**「ミスしても明るい雰囲気」私達の良いところは、ミスしても明るい雰囲気を保つところが一番いい。相手の良いところは、フォロワー、助け合いながら試合をしていました。この大会で学んだ事を活かして、今後の練習でも(学んだ事が)できるように体力作りを頑張りたいです。